

入広瀬公民館だより

令和4年1月 第73号

入広瀬公民館

〒946-0304 魚沼市穴沢 215-1

TEL796-2322 FAX796-2767



あけましておめでとうございます。



新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な活動が自粛や中止になり、皆さまには、大変ご迷惑をおかけしております。

新年を迎え、皆さまの笑顔があふれる、楽しい講座が開催できますことを心より願っております。本年もよろしくお願ひ申し上げます。



「今後の入広瀬」

浅井 作松 (辛翰区長)

魚沼市が誕生して十六年となりました。合併当時の入広瀬地域の世帯数は、約700世帯、現在は520となり、180世帯も減少、人口は1950人から、1116人となり、834人減少している状況です。高齢化率では、53・7%となっており、若い人の減少が、特に目立っております。その要因は、若い人の就労の場がないこと、雪処理が負担、交通手段が少ない等、いくつか考えられると思います。今後、若い人の定住できる環境をつくることとが、この地域での緊急の課題であります。又合併後は、多くの建物、施設が取り壊されました。サングリーンパーク、洞窟風呂、植物園、スキー場、数限りありません。中学校は、守門地域に統合、小学校はもう目の前、寂しい限りです。しかし嘆いていても仕方ありません。そうだ、この地域には、寿和温泉、温水プールがあるぞ！温水プールは、近隣にない良い施設です。



新刊図書のご案内

- 【一般】○輝山
- バニラな毎日
- 7.5グラムの軌跡
- 【児童】○こんやはどんなゆめをみる？
- ノラネコぐんだん
- ラーメン屋さん
- パンどろぼうとなそのフランスパン



リクエスト受付しています。
どうぞご利用ください。



皆さんも、農作業で、疲れた体を癒すため、心を癒すため、利用してみてください。多くの地域の人達が、この施設を利用し、健康で長生きすることこそ、この入広瀬地域を活性化ある地域になることと確信しています。この施設こそ、入広瀬地域を守る最後の砦ではないでしょうか。残された数少ない施設を守り、活用して、入広瀬地域を元気に行けたら、良いと考えております。入広瀬地域が、魚沼市の過疎地域とならないために、この地域をどうしたら良いか、地域全体で、知恵を出し合い、考えて行くことが大切であると痛感しています。



講座の様子をご紹介します



11月10日(水)

高齢者講座「駐在講話」

「高齢者の交通安全と防犯」

魚沼市内で実際に起こった特殊詐欺事件についてお話していただきました。犯人の手口の特徴など、しっかり把握して被害に遭わないようにしてほしいと思います。

交通死亡事故も起きています。歩行者も運転者も一人一人が交通安全に気を付けてほしいものです。



11月16日(火)

新潟県立歴史博物館出前講座

「長岡藩の一兵士の日記に見る北越戊辰戦争」

下級武士の身の回りの出来事、体験したことを書いた日記について、資料を見ながら、解説していただきました。



11月16日「長岡藩銃卒が見た戊辰戦争」を県立歴史博物館 田邊幹氏より講話いただきました。入広瀬は八十里とも関係が深く、かつては会津と越後の人たちが行き来をしていた重要道でした。また北越戊辰戦争のときでも小千谷や小出の戦いがあり、入広瀬も通行していたことが伺い知れます。この長岡藩の兵の日記を紹介してもらいました。筆者は小泉守勝で「有名なる八十里峠にて五丁行きては休み六丁行きては休む・・・今朝農家の軒に掛けし古物盗みて用せし・・・兵糧は残飯を分配して小なる握り飯一つありしを先に食なり水を飲み休み休み七時頃山上なる木の根と申すところに至る・・・」と長岡藩が落城し八十里越から会津への敗走の道中の一部様子です。日記は小千谷での戦い、長岡市街戦の様子やその後の様子も紹介してもらいました。八十里は戊辰戦争や河井継之助などの歴史的事象で注目されている街道です。また旅人や行商人が大白川を經由して会津と行き来した生活道でもあり六十里と同様魅力ある街道であると改めて感じました。

入広瀬公民館長 穴沢 良一

